

# 新生の大地<sup>おおがた</sup>大潟村体験推進協議会

## 連絡先

住 所	秋田県南秋田郡大潟村字中央1-1
電話番号	0185-45-3653
FAX番号	0185-45-2162

## 受入体制

### (1) 構成メンバー

大潟村農業協同組合、大潟村教育委員会、大潟村商工振興会、(サポート団体)、大潟村グリーン・ツーリズム連絡協議会(宿泊)※、秋田県立大学(アドバイザー・体験スタッフ)、耕心会(体験)、大潟村カントリーエレベーター公社(体験)、大潟村あきたこまち生産者協会、同友会、農友会、(体験・PR)大潟村木炭水質浄化研究会、大潟村の自然を愛する会、生活学校、大潟村百姓おどりの会、インターネット学校菜園(体験)※、サンルーラル大潟、秋田県農業研修センター(宿泊)

※大潟村グリーン・ツーリズム連絡協議会(宿泊)：児童の宿泊受け入れ担当

※インターネット学校菜園(体験)：県内の学校を対象に植付、収穫等の体験ができる。中間管理等は学園が行っており、農産物の成長等は備え付けのライブカメラで撮影され、学校にいたままインターネットで確認することが可能。県内8校が利用中。

### (2) 地域内の各機関との連携

事務局が相談窓口として、民泊の手配、体験活動、学校との連携などを行っている。

### (3) 小学校、旅行会社等との対応

学校が行う現地下見の実施について協力をし、学校の要望に基づき提供出来るプランを提案する。

また、受け入れに基づき、受け入れ関係者との連絡調整を図る。

体験・宿泊・地域内交通等に関する手配等を行う。事前に受け入れの関係者に対する安全、衛生等に関する説明会を開催する。

## 受入学校名

秋田県横手市立栄小学校

## 当該小学校の受け入れの経過

### (1) 小学校との最初の接点（きっかけ）

前年度、国の受入地域の採択になったので、協議会の紹介と大潟村の体験メニューを全県の小学校に送付する。

その結果、当協議会に電話を受けたことが最初である。横手市栄小学校の校長先生は、会議等で一緒になることが多く、面識があった。

### (2) その後の小学校への対応

当協議会に連絡を受け、小学校と体験メニュー等の打ち合わせを行った。

## 小学校が当地を選定した理由

(1) 事前体験場所（あきた白神体験センター：海と山の体験活動）より、1時間ほどという移動距離が適切であった為。

(2) 当協議会の内容を事前に校長が把握をしており、地域環境が住んでいる地域と違い農村だという事が選定した理由の一つである。

## 受入地域への効果

(1) 受入農家の家族構成が二人家族である農家も多く、子どもを受け入れる事で子ども達から元気をもたらす事ができた。

子どもたちを通じて、その家族と共に再度来村してくれるケースがある。

(2) 普段みている風景や田んぼの大きさなどに感動する子どもが多く、地域の良さを再確認する事ができた。

## 受け入れた小学校との関係維持への対応

小学校の希望を聞きながらも、大潟村の季節のあった体験を提案している。

“体験”は、あるものをそのまま体験をしてもらいたい。